

新製品

庄田鉄工

粉塵をシャットアウトする
加工機「プラネット・ブルー」

庄田鉄工(株)(静岡県浜松市北区、庄田浩士社長)は切削粉の出ないNCルーター「プラネット・ブルー」を開発。全国及び海外に向けて販売している。

木工の作業現場では、大量の粉塵を長期に渡って吸入曝露による作業者の健康被害が問題視されている。特に近年は切削加工に優れたNCルーターの普及が進み、細かな粉塵を吸入する機会比以前よりも増している。また、木材以外の素材を加工することも増え、新素材の細かい粉塵を長期吸入すればじん肺などの疾病

を招く原因となる。こうした背景から、同社では切削時に粉塵をガードする完全ダストフリー構造の「プラネット・ブルー」を開発した。



国際木工機械見本市に出品した「プラネット・ブルー」

特徴は密閉構造により粉塵の発生を作業空間内から外に出さないことにある。機械の動作によってわずかな隙間から出る粉塵もシートカバーが吸着し、作業者に当たらない工夫が施されている。主軸の周囲には集塵口を設置し、最も粉塵が発生する加工作業のすぐ近くで集塵することです。集塵効率を高めた。また、この集塵機能はヘッドの冷却機能も兼ねており、液冷用のクーラントポンプが不要になる。加工後は自動的にエアガンで粉塵を飛ばし、テーブルの周囲360度に設けた集塵口が早急に集塵する。

主軸は最大15キロワット、連続11キロワットのACスピンドルを搭載。制御軸数は4軸だが、オプションでアングルヘッドのC軸を追加すれば5軸加工にも対応できる。優れた環境性能が評価され、これまでに平成26年度先端技術・新製品コンクールで林野庁長官賞、昨年の東京国際木工機械見本市で人気コンテスト最優秀賞を受賞している。